

事務事業名		下水道施設整備事業(浄化センター)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	02 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間		予算科目				
	施策名	04 良好な河川・港環境の保全				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 公共下水道等の整備				13	01	01	04	00
根拠法令		下水道法、市下水道条例・施行規則		<input type="checkbox"/> 単年度のみ						
所属	部課名	都市整備部 下水道事業所		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成25 年度～)						
	課長名	千葉 謙		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】						
	係名	業務係	電話	0192-27-3111	年度～ 年度					
	担当者	鈴木恭子	内線	201	※全体計画欄の総投入量を記入					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
<p>【緊急情報配信システム整備】 浄化センターに全国瞬時警報システム(J-ALERT)から発せられる地震・津波等の緊急情報を直接伝えるための受信機の設置と、情報の伝達手段として、音声の届かない地下坑道内への通報用回転灯の設置及び地上施設の既設スピーカー難聴箇所へのスピーカーの増設を行うものである。このことにより、施設内業務従事者に緊急情報が伝達され、速やかな避難が可能となるほか、発電機等の予備電源で稼動できるため、災害発生後想定される長期の停電の際にも十分な伝達機能が確保され、安全・迅速な復旧対応が可能となり、基幹ライフラインである下水道の早期復旧が図られる。</p> <p>【長寿命化計画】 下水道施設の老朽化や機能低下等による水質事故等の未然防止及びライフサイクルコスト(新設、更新、維持管理、処分)に要する費用)の最小化、耐震化等の機能向上を図ることを目的に国が創設した「下水道長寿命化支援制度」に基づき、下水道施設(管渠・処理場・ポンプ場)の健全度に関する点検・基礎調査を実施し、「長寿命化計画」を策定する。計画策定後は、計画に沿って施設の改築等を行う。 また、浄化センターは東日本大震災での地震による被害は認められなかったが、平成12年に改定された建築基準法の新耐震基準以前に整備されており、新基準での耐震診断が未実施であることから、耐震診断を行い「耐震実施計画」を策定する。計画策定後は必要に応じて耐震工事を施工する。</p>						総投入量 (千円)	国庫支出金			
都道府県支出金										
地方債										
その他										
事業費計(A)	0									
正規職員従事人数										
延べ業務時間										
人件費計(B)	0									
トータルコスト(A)+(B)	0									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
・長寿命化計画策定		ア	浄化センターの維持補修箇所数
・耐震実施計画		イ	浄化センターの施設数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	
・長寿命化計画(実施設計書の作成及び建設工事の委託)		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		名称	
【緊急情報配信システム整備】		単位	
浄化センター従事者		カ	浄化センター内緊急情報伝達機器設置数
【長寿命化計画】		キ	長寿命化計画対象施設数
長寿命化計画・耐震実施計画の対象施設等		ク	耐震実施計画対象施設数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
【緊急情報配信システム整備】		名称	
浄化センター従事者の安全の確保		単位	
【長寿命化計画】		サ	浄化センター内緊急情報伝達機器設置済数
長寿命化計画・耐震実施計画の対象施設等の改築(更新含む)		シ	長寿命化計画健全度に関する点検・基礎調査実施済・改築済施設数
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		ス	耐震診断実施済・改築済施設数
施設の機能を適切に維持管理し、汚水を水質基準に適合するように適正に処理する。結果、港湾・河川への環境負荷を軽減し、公共用水域の水質を保全する。			

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	年度						
		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	国庫支出金	千円			2,500	16,150	81,710	252,000
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円			400		54,400	196,200
	その他	千円			7,560	16,150	38,025	21,800
	一般財源	千円					1,400	
	事業費計(A)	千円	0	0	10,460	32,300	175,535	470,000
人件費	正規職員従事人数	人			2	2	2	2
	延べ業務時間	時間			60	100	100	100
	人件費計(B)	千円	0	0	240	400	400	400
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	10,700	32,700	175,935	470,400
⑤活動指標	ア	箇所			12	11	10	10
	イ	箇所			14	14	14	14
	ウ							
⑥対象指標	カ	箇所			6	0	0	0
	キ	箇所			9	9	21	21
	ク	箇所			14	17	14	14
⑦成果指標	サ	箇所			6	6	6	6
	シ	箇所			0	2	9	15
	ス	箇所			1	8	14	18

事務事業ID	0714	事務事業名	下水道施設整備事業(浄化センター)
--------	------	-------	-------------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
<b>① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？</b>	
<p>【緊急情報配信システム整備】 東日本大震災時に、緊急情報の伝達される範囲及び方法が限定されていることが判明した。津波等が発生した場合、従事者等の迅速な避難が重要であることから、事業導入に至った。</p> <p>【長寿命化計画】 機械や設備等の改築(更新)に関する国庫補助対象が、下水道長寿命化計画に位置づけられたものに限られたことにより、<b>計画の策定が必要となった。</b></p>	
<b>② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？</b>	
<p>【緊急情報配信システム整備】 東日本大震災以降は、余震による津波注意報等の発令が懸念されている。<b>平成25年度にシステム整備が完了した。</b></p> <p>【長寿命化計画】 大船渡浄化センターは、供用開始から20年が経過した。供用開始区域が拡大し、汚水処理量が増加している中、一部施設は耐用年数が経過している。しかしながら、施設整備(改築・更新等)を行うための補助事業導入には計画策定が必須となった。<b>平成26年度には長寿命化計画書を策定し、提出した計画書を国土交通省東北地方整備局が受理したことにより承認された。</b></p>	
<b>③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？</b>	
<p>【緊急情報配信システム整備】 特になし</p> <p>【長寿命化計画】 特になし</p>	

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	<b>① 政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<p>【緊急情報配信システム整備】 終末処理施設従事者の安全が確保されることにより、災害発生後に安全・迅速な復旧対応が可能となり、基幹ライフラインである下水道の早期復旧が図られる。</p> <p>【長寿命化計画】 供用開始から20年が経過し、供用開始区域が拡大し、汚水処理量が増加している。一部施設は耐用年数が経過している中で、施設整備(改築・更新等)を効率的に行い、将来的な維持管理費用を最小化することが必要である。その結果、大船渡湾をはじめとする公共用水域の水質保全に繋がり、居住環境の向上に結びつく。</p>
	<b>② 公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒
有効性 評価	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	公共施設の整備及び適正な維持管理(委託)は、市の義務であり、大船渡湾をはじめとする公共用水域の水質保全にも繋がるので妥当である。
	<b>③ 対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<p>【緊急情報配信システム整備】 対象は施設内業務従事者のほか、施設周辺の事業所従事者及び通行者等となっており適切である。</p> <p>【長寿命化計画】 改築及び更新等を行う施設に限定する事業のため適切である。</p>
効率性 評価	<b>④ 成果の向上余地</b>	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<p>【緊急情報配信システム整備】 情報伝達の最低限の設備であり、成果の向上は難しい。</p> <p>【長寿命化計画】 事業は日本下水道事業団へ委託している。日本下水道事業団は、下水道に関する建築、電気及び機械設備等の専門的知識を有しており、優れた事業執行能力を備えている。また、委託者からの要請を的確に実現する実施体制を有している。長寿命化計画と併せて耐震実施計画を効率的に行うためには、日本下水道事業団以外への委託は難しい。</p>
	<b>⑤ 廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<p>【緊急情報配信システム整備】 災害発生後、業務従事者の安全が確保されなくなると、迅速な復旧対応が不可能となり、下水道の早期復旧が困難になる。</p> <p>【長寿命化計画】 計画策定を行わなければ、改築等に国庫補助が導入できなくなり市の費用負担が増加する。</p>
	<b>⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業)  <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ どちらの事業とも類似事業はない。  <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	
公平性 評価	<b>⑦ 事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<p>【緊急情報配信システム整備】 浄化センターのシステム整備は完了したため、平成26年度以降の事業費はない。</p> <p>【長寿命化計画】 事業費は、日本下水道事業団への委託費用であり、事業費を削減することはできない。</p>
	<b>⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<p>【緊急情報配信システム整備】 浄化センターのシステム整備は完了したため、平成26年度以降の事業費はない。</p> <p>【長寿命化計画】 人件費は計画策定範囲や方針に関する打合せ等の最低限のものであり、削減の余地はない。</p>
	<b>⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒
事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	特別会計で実施している事業であり、受益者の負担は適正である。	

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>【緊急情報配信システム整備】 今後、幅広い運用方法の検討を行うことにより、対象範囲を拡大することが可能である。</p> <p>【長寿命化計画策定】 対象施設が多く、健全度の点検・基礎調査には多大な時間を要するが、効率的な調査を実施することができたため、長寿命化計画書が策定できた。</p>							
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>【長寿命化計画】 長寿命化計画に基づき、施設整備(改築・更新等)を効率的に行い、将来的な維持管理費用を最小化することが必要である。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下		×	×
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持		●	×																	
低下		×	×																	
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>【長寿命化計画】 従来型の改築や更新が補助対象とならなかったことから、今回計画策定対象外となった施設において、耐用年数が経過し改築・更新の必要性が生じた時に、再度、長寿命化計画を策定する必要がある。</p>																				

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	下水道事業所長	千葉 譲
-------	---------	------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																				
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>国庫補助等、有利な財源の確保を図りながら、公共下水道の中核施設である浄化センターの長寿命化に向けた計画の策定等を行っている。</p>							
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>現状どおり継続して事業を実施する。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下		×	×
成果	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持		●	×																	
低下		×	×																	

### 5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
---------------------